

2008 年度

科目名 人間関係論	対象学科・学年 人間人社 2 回生	担当者 田沢 晶子
授業テーマ 青年期の中心的な課題であるアイデンティティの形成を軸にすえて、人間関係の諸側面について学ぶ		
授業の概要と目標 人間関係を理解するための基礎として自己意識の理解より始める。次に他者との関係性については、身近な経験である家族関係や友人関係について取り上げて解説する。将来への見通しを描くために、さまざまな役割の試みとその統合について理解を深める。さらに現代社会の病理や心の健康についても補足する。		
評価方法 出席、レポート、試験により評価します。		
テキスト 適宜紹介します。	著者	出版社
参考書 人間関係の心理学 ＜ほんとうの自分＞のつくり方	著者 蓮見将敏ほか 榎本博明	出版社 福村出版 講談社現代新書
授業スケジュール・内容 [スケジュール] - 自己を見つめる —自分という意識について— - 他者との関わり —他者理解・共感— - 家族関係の心理 —乳幼児期の親子関係— —青年期の親子関係— - 友人関係の心理 —友人関係— —自分を主張する— - これからの自分 —職業選択— —自分を語ることの意味①— —自分を語ることの意味②— - 社会病理について —さまざまな社会病理①— —さまざまな社会病理②— - 意識と無意識 —自分の気付かない側面について考える— - 心の健康とは —不適応を理解する— —悩みを抱えるということ— - まとめ		